

## 口腔外科

有家 巧

当科では口腔、顎、顔面領域に生じる疾患を治療対象としている。すなわち 1) 歯および歯周組織疾患 2) 口腔粘膜疾患 3) 顎骨疾患 4) 唾液腺疾患 5) 顎関節疾患 6) 神経疾患 7) 血液疾患（診断と口腔粘膜出血の処置）8) リンパ系疾患などの口腔外科疾患を扱っている。特に悪性腫瘍の治療においては頭頸部カンファレンスと病理カンファレンスを行い、関連科の協力を得て集学的な治療を積極的に行っている。一方総合病院の口腔外科として、一般開業歯科医院では治療困難な全身管理（全身麻酔および周術期管理を含む）を要する患者さんの歯科治療や、入院患者さんの口腔管理も行っている。なかでも口腔ケアは、放射線治療、化学療法、骨髄移植、全身麻酔の術前（上部消化管疾患、肺がん等）、人工呼吸器装着および各種感染症などの患者における治療の遂行および入院期間に影響を与える大きな要因として認識され、十分な対応が求められている。教育面では当科は歯学部学生の早期臨床体験を受け入れ、歯科医師卒後研修の研修指定病院としてマッチングに参加し、平成 26 年度は 1 名の研修医を指導した。また日本口腔外科学会および日本顎関節学会の研修指定機関に指定され、専門医取得のための卒後教育も積極的に行っている。

臨床研究としては口腔顎顔面悪性腫瘍術後における顎骨再建と口腔機能再建、非関節性開口障害の診断と治療をそのテーマとし、また国立感染症研究所との共同研究として「HIV 感染者の唾液感染性に関する研究」を感染症内科の協力を得て行っている。

### 【2014 年度研究発表業績】

A-0

Akiyama H, Yoshida K, Yamazaki H, Takenaka T, Kotsuma T, Masui K, Yoshioka Y, Arika T, Shimizutani K, Tanaka E

High-dose-rate interstitial brachytherapy for mobile tongue cancer: preliminary results of a dose reduction trial

Journal of Contemporary Brachytherapy 2014; 6(1):10-14

B-4

濱田裕之、鹿野 学、木村一貴、安井正晃、宮川まどか、江頭俊輔、古川正幸、赤根昌樹、有家 巧 :右頬部の腫脹を認めた多発血管炎性肉芽腫症の 1 例

第 59 回 日本口腔外科学会総会・学術大会、千葉、2014 年 10 月

濱田裕之、鹿野学、川口裕子、安井正晃、宮川まどか、江頭俊輔、古川正幸、有家巧 ; 高齢者の口蓋部に生じた巨大な粘表皮癌の 1 例

第 68 回 国立病院総合医学会、横浜、2014 年 11 月

B-6

安井正晃、濱田裕之、宮川まどか、江頭俊輔、古川正幸、鹿野 学、有家 巧；上顎前歯部に生じた悪性黒色腫の 1 例

第 45 回 日本口腔外科学会 近畿支部学術集会、奈良、2014 年 6 月